

先輩職員の声



消防署 救助隊所属

平成29年度入庁

Q 消防士を志した理由を教えてください

東日本大震災の際、現場の最前線で懸命に救出活動に取り組んでいる消防士の姿を見て、私も消防士として人の命を助けたいと強い憧れを抱くようになりました。また、自分が生まれ育った富里市で人の役に立つ仕事をしたいと思っていたこともあり、富里市で消防士になることを目指しました。

Q 現在の業務内容を教えてください

救助隊として火災現場や交通事故、自然災害等に巻き込まれた人の救出活動や、救急隊と一緒に出勤し、命の危機に瀕した人の救命活動も行っています。出勤以外の待機時間では、いつ起こるか分からない多種多様な災害現場を想定し、迅速な活動ができるよう、日々訓練に取り組んでいます。

Q 入庁してから一番苦労したことや大変だと感じたことはなんですか

救助活動だけでなく、救急業務や予防業務など、覚えなければならないことがたくさんあり、それらを一から学んでいった過程が一番苦労したなと感じましたが、先輩方や同世代の仲間の支えもあって乗り越えることができ、人として、消防士としても成長できたのではないかと思います。

Q 入庁してからうれしかったことや、やりがいを感じたことはなんですか

実際の災害現場で日頃の訓練の成果が出せた時には、とても達成感を感じます。現場では、常に危険と隣り合わせの中で失敗は許されないというプレッシャーもありますが、その中で訓練や現場経験を活かし、自分ができる最善の活動をすることで市民の方々の安全を守ることは、消防士でないと得られないやりがいだと思います。

Q これから消防士を目指す方へメッセージをお願いします

訓練や災害現場では過酷な状況や悲惨な光景など、厳しいことがたくさんありますが、その分無事に市民の方々の命を守る事ができた時や、感謝の気持ちをいただいた時のやりがいはとても大きいです。絶対に人を助けるという強い気持ちを持った皆様と共に働ける日を楽しみに待っています。